

新型コロナウイルス感染症とインフルエンザが同時流行しています

大分県内では、新型コロナウイルス感染症（以下、COVID-19）が7週連続で拡大しています。1月7日までの1週間に、1医療機関あたり、COVID-19の患者数は11.02人となり、去年10月以来、約3か月ぶりに注意報基準の10人を超えました。一方、インフルエンザの患者数は1医療機関あたり19.21人と、前の週から半減しているものの依然警報レベルにあり、COVID-19との同時流行となっています。

[感染症発生動向調査（速報） - 大分県ホームページ \(pref.oita.jp\)](https://pref.oita.jp/)

大分大学においても、COVID-19やインフルエンザの感染者が増加しています。今後、学内での感染拡大が懸念されます。室内の換気や手洗い、場面に応じた適切なマスクの着用等、基本的な感染対策を心掛けてください。

現在、大分大学では、発熱や呼吸器症状（咳、鼻水、のどの痛み等）など何らかの体調不良を認める場合は大学への登学を控え、医療機関を受診し、結果を大学の公式ホームページから報告するようになっています。

[新型コロナウイルス感染症・インフルエンザ等への対応 | 国立大学法人 大分大学 \(oita-u.ac.jp\)](https://oita-u.ac.jp/)

COVID-19やインフルエンザの感染が明らかになった場合は、大学からの指示にしたがって、一定期間、登学を控えるようにしてください。